

## 学長のコラム

### カイノキ（楷樹）について

三牧課長の手配で、何度か県内外の植木畑を見て回り、新アリーナの敷地の植栽の木を選定させていただいた。その際、久留米で見つけたのが、今回、大学西側入口の左側に植えたカイノキである。中国原産のカイノキは、直角に枝分かれすることや小葉がきれいに揃っていることから、楷書の語源になったとも言われている。学名は、*Pistacia chinensis* で、ピスタチオの仲間とのことだが、実はまったく似ていない。別名クシノキ（孔子の木）は、中国山東省曲阜（きょくう）にある孔子（紀元前551～479、日本では弥生時代）の墓所「孔林」に弟子の子貢（しこう）が植えたこの木が各地の孔子廟等に代々植え継がれていることに由来する。日本には、大正4（1915）年に林業試験所の白沢保美博士が、孔林から種子を持ち帰り苗に育てられ、それが全国の孔子廟等に植えられ広がったとのことだ。湯島聖堂（東京）、足利学校（栃木）、金沢文庫（神奈川）、閑谷学校（しずたに学校、岡山）、多久聖廟（佐賀）などのものは、樹齢百年以上の初代の木々と思われる。閑谷学校の2本のカイノキの紅葉の様子はネットでも紹介されており（写真）、その美しさは現物を見に行きたくなるほどである。学問（儒学）の祖といわれる孔子と縁が深く、中国の官吏登用試験「科挙」のなかで最も難しい進士科の試験に合格した者に楷の笏（しゃく）を贈ったことなどから「学問の木」とされ、教育機関のシンボルツリーとして植えられることが多い。本学も、これに倣って、学生諸君が国家試験に合格することはもとより、学問に優れた人に成長するように願いを込めて植樹した。毎年、国家試験の受験に向かう学生諸君をここで見送るが、この木に手を合わせて合格を祈願する学生諸君が増えれば、植樹の意味のいくばくかが達成されたと考えたい。設置した石碑には、孔子（論語）の言葉、「学びて思わざれば則ちくらし、思いて学ばざれば則ちあやうし」を刻んで、私からのメッセージとさせていただいた。



### 2月・3月の主な行事予定

2/26 (月)	利益相反に関する研修会（教職員対象） 13:00～
3/ 1 (木)	地域包括連携医療教育研究センター研修会 14:40～
3/ 2 (金)	センター利用（後期日程）入試
3/ 3 (土)	後援会役員会 大学院一般選抜・社会人選抜（Ⅱ期）入試
3/ 7 (水)	新アリーナ竣工式
3/ 9 (金)	卒業式・修了式・卒業記念パーティー
3/12 (月)	第2回情報セキュリティ研修会 16:20～17:50
3/14 (水)	学校法人銀杏学園理事会・評議員会
3/22 (木)	学内研究助成・研究成果報告会
3/23 (金)	脳卒中リハ修了式 10:00～
3/26 (月)	看護師・保健師・助産師国家試験合格発表日
3/27 (火)	第2回FDセミナー9:30～12:00 予定 臨床検査技師・理学療法士・作業療法士国家試験合格発表日
3/28 (水)	言語聴覚士国家試験合格発表日
3/29 (金)	ハラスメント防止研修会 10:00～11:30
3/30 (金)	辞令交付式（退職、任期・期間満了）

### ピア・サポーター&プチ・サポーター養成講座

平成29年12月9日（土）第17回養成講座を開催し、プチ・サポーター32名、ピア・サポーター38名が参加しました。午前中は傾聴や対人援助のためのグループ・ワーク（GW）、午後には「多様な学生像を理解しよう！」と題した講義の後、障害学生への支援を想定したGWを実施しました。また、初企画として、支援を受けている学生さんに体験を報告してもらいました。診断を受けた時の恐怖感や将来への不安、その後、周囲の支援により、夢に向かって頑張っている等々の話に、サポーターたちは真剣に耳を傾けていました。講座で学んだ知識・技術を活かした、今後の活動に期待しています。（文責：学務課）



### 熊保大 健康と科学の夕べ

1月11日（木）、50周年記念館にて公開講演会「熊保大健康と科学の夕べ」を開催し、教職員、学生、地域住民等108名が参加しました。今回は、山梨大学大学院泌尿器科学講座の武田 正之教授をお招きし、「排尿機能と性機能～よりよく生きるために」と題して、私たちの生活において身近で興味深い排尿についてご講演いただきました。日頃、排尿機能で悩んでいるけれどもなかなか相談できなかつたり、病院に行くほどのことでもないのではないかと考えていた方も多数いらっしゃり、武田教授の非常にわかりやすいお話に皆さんとても満足していただけた様子でした。（文責：企画課）



熊本の各情報番組にて告知

### 集まれ！弁当男子・弁当女子

平成29年12月18日（月）、本学3320実習室において熊本市北区主催の『かんたん料理教室』が開催されました。約20名の参加学生のうち、4名は男子学生です。日頃、お弁当を自分で作っている男子学生もおり、驚きの声が上がりました。初対面の学生も多くいましたが、和気あいあいとした雰囲気のなか、調理がすすみ、とても美味しそうな“おにぎらず”が出来上がりました！これをきっかけとして、学生みなさんが弁当男子・弁当女子になってくれることを期待しています！

（文責：学務課）



## 国家試験お見送り

2月25日(日)の理学療法士・作業療法士の国家試験で本学学生が受験する全ての国家試験が終了します。2月15日(木)は、大漁旗や手作りのメッセージボードを手に、教職員・学生で保健師の国家試験に向かう学生達を見送りました。是非、全員合格してほしいと思います。

(文責：企画課)



## 平成29年度 看護学科キャリア教育セミナー

2月8日(木)・9日(金)、本学におきまして、看護学科の学生を対象としたキャリア教育セミナーを開催しました。本セミナーは、キャリア教育の一環として、各施設の情報収集を行い、「将来はこうなりたい」、「このように働きたい」などの職業観を再確認し、将来の看護師・保健師への青写真を明確にすることが主な目的です。8日は九州内54施設、9日は九州外41施設にご参加いただきました。これから就職活動が本格的に開始いたします。自分たちの納得のいく活動ができることを期待しています。

(文責：就職支援課)



## 平成29年度 久しぶり、元気かい(会)

2月10日(土)、ザ・ニューホテル熊本におきまして、平成28年度卒業生の同期会「久しぶり、元気かい(会)」を開催しました。その主たる目的は、懇談会を通して近況報告を行い、教職員と卒業生が相互に親睦を深めることです。

当日は、過去の参加者数で最も多い239名(医学検査学科卒業生85名、看護学科卒業生17名、リハビリテーション学科卒業生74名、教職員他63名)の方々にご出席いただきました。一年前に比べて、皆さんがより大人になった姿を見ることが出来て大変嬉しく思います。今後の益々のご活躍を期待しています。

(文責：就職支援課)



## コンケンマラソン大会に参加して(その1)

2017年11月中旬

尾上さん：「コンケン大からコンケンマラソン大会のVIP参加案内が来ています。行きませんか？」の案内。

石原：VIPの3文字にひかれて「はい、行きます」と返事。どうせ松原先生も、鏑木先生も参加するだろうから気が楽だ。

尾上さん：「参加者は石原さんだけです。」

石原：え!!!不安。でも行くと言ってしまったし、しょうがないかな。どうせ、オール・サンデー・クラブだし、チャンピット先生やパッチャリー先生にも会えるし、行こう。

こんな軽いノリでスタート。

それでも11.5km(ミニマラソン)なので少し練習はしないと運営する人に迷惑をかけるかもしれない。それに体重が5kg以上オーバーしている。こんな思いで1月上旬から2日に1回、1.5時間のタイム・ランニングを開始。ところが1月17日、風邪をひいた。えらいこっちゃ。早速病院へ行って薬をいただいて飲むが、まったく良くならない。さらに、悪化して一日中寝ていた。タイへの出発前日には何とか良くなっていたが、練習ゼロ。病み上がりで本番。名誉の棄権もありだと開き直って出発。

1月28日午前6時、出発の号砲。しかし、そう簡単には出発できない。出発点は人、人、人。どこからこんなに出来たんだろう。4万人以上が参加。スタートのところから歩いている人が沢山のいた。「これならビリにはならないな」と思うと少し気が楽になった。…つづく

(文責：石原 義光)



↑学長補佐のアチャラワン先生のところを訪問した時の写真

## 学問の木

学長コラムに登場した本学の「学問の木」と石碑です。



\*

\*

## 私の秘話ヒストリー

今回は看護学科の戸渡 洋子講師に投稿していただきました。

東京での学生時代は、大小のショックの連続であった。初めて出会う標準語の人々、スーパーで売られている物の値段(高い!)など様々な出来事に軽いショックを受けた。友人に誘われ某W大学の軽音サークルに入部し、圧倒的な才能の違いを目の当たりにし、ショックを受けた。学生として看護を学び始めた頃の臨地実習では、心優しき患者さんたちに出会い、時に、死という別れに直面し、大きなショックを受けた。しかし、友人や恩師、指導看護師に支えられ、看護職という仕事の厳しさと素晴らしさに気づかされたし、サークル活動でも、最後には仲間たちと学園祭ステージを成功させた! 様々なショックは、人生の栄養剤なのかもしれない。新しい世界に飛び込むことで、刺激を受け葛藤し、多様性を受け入れ、また新たな自分に成長できたように思う。もうじき本学に入学してくる新生の皆さんも、新たな刺激にたくさん出会い、逞しく成長してくれることを願っている。